

令和5年度 林業普及週間現地情報(12/3～12/9)

森林管理課

木育キャラバン in 首里城

12月9日(土)、10日(日)

県が令和5年1月に行った「ウッドスタート宣言」の取り組みとして、今年度から「沖縄県ウッドスタート宣言推進事業」を実施している。

その取り組みの一環で、令和5年12月9日、10日に、首里城公園内の芝生広場（首里杜館前）にて「木育キャラバン in 首里城」を開催した。

首里城復興には、オキナワウラジログンなどの県産木材も活用されている。

今回、来場者には首里城の復興作業を見学しながら、歴史や文化、身近にある木や森林にも関心を持っていただきたいと思い、沖縄県土木建築部首里城復興課が主催する「首里城復興イベント」との共催で実施した。

「木育キャラバン」では、リュウキュウマツの積み木や木の卵プールをはじめとした沖縄県産木材を使ったおもちゃが用意され、実際に触れて遊ぶことができ、多くの親子連れで賑わいを見せた。また、併催イベントとして「木工体験」や「草玩具づくり体験」も開催された。

「木工体験」では、県内の木工業者に教えてもらいながら、お箸やペン立て、鉢置きづくり等が体験できる。なお、今回の木工体験の材料には、実際に首里城正殿の復元に使用される県産イヌマキの端材等を使用しており、プレミアムな体験を提供できた。

「草玩具づくり体験」では、アダンやマーニー（クロググ）等の子どもの背丈より大きな葉を編んで「草そり」づくり等を楽しむ姿が見られた。

また、同会場内では普及員による県産木材と県産きのこに関するパネル展示なども行った。パネル展示では、首里城等の文化財の復旧に使用された県産木材の説明や、木材の伐採跡地は植栽・保育し、将来の文化財修復に対応できるよう適正な森林管理を行っていくこと等を紹介した。こちらには、観光や散策等で首里城に来場した方が立ち寄る姿が多い印象だった。また、展示されている県産木工品を見た来場者からは、「この木工品は、どこで購入できるのか」等質問を受け、興味を持って貰えた。

今回の木育キャラバンは首里城で実施したことにより、「沖縄の歴史や文化」と「沖縄の木材利用」の関係についても、体験を通して五感で感じ、広く知ってもらえる機会となった。引き続き、沖縄の木や森林を身近に感じ、関心を持ってもらえるよう取り組んでいきたい。



木のおもちゃで遊ぶ様子（木育キャラバン）



鉢置きづくり（木工体験）



草そり（草玩具づくり体験）



県産木材・県産きのこのパネル展示

（報告者：森林管理課 大城、桑江、石垣）